

会場④—5 長野県木曾青峰高等学校

- コロナ禍で大変な中、交流を大切に地域の里山の活性化を図っていて素晴らしいなと感じました。子供たちと交流することによって、里山を大切にしようという姿勢が子供たちにも伝わっていくと感じます。
- 高校でのプロジェクトを行う時に、高校生と教員だけでなく地域のプロフェッショナルな人たちと活動できることで、活動の幅が広がり学ぶことが多いことを強く感じました。里山を利用したプロジェクトは自分が想像している以上にあることを知れたので、地域の自然を未来につなげる大切さを考えるきっかけになる素晴らしい発表でした。
- 放置された里山に目を向けることは、人間が過去に自然とどう付き合い生活してきたかを知るきっかけともなり、自然に対する在り方と環境破壊の現実について学べる契機になると感じました。ガーデン利用のイノシシ被害は残念でしたが、どれほど荒廃しているかの認知にもなり、それを伝えていく手段として交流を設けていたのも次世代に語り継ぐ視点において、非常に有用であると感じました。
- 里山活動を地域の子どもたちとつなげるための、3つのプロジェクトを立ち上げたこと、そしてそのどれもが内容の濃いもので、素晴らしいと思いました。その中でも、私は2つ目の関心やモチベーションを挙げるために、オリジナルの作業着を作ったり、木曾ヒノキをつかったベンチやスモールハウスをつくったり、伝統野菜や山菜を活用した取り組みが興味深かったです。木曾ヒノキは、小さい頃私が木曾にある赤沢自然休養林に行ったときに初めて木曾ヒノキの香りを知り、好きになったので、それでベンチやスモールハウスを作ったのは良いなと思いました。次世代に青峰里山プロジェクトを引き継ぐことが課題であるとありましたが、良い伝統を引き継ぎつつ、その時代に合わせた取り組みを次の世代にも続けてほしいなと思いました。
- 里山を子供たちに体験させる場を設けたいという思いから、整備をするという活動を高校生がすること自体すごいことだと思いました。自分は出身地が比較的都会で自然とは正直無縁だったので地域の自然を大切にしたいという思い自体大切にすべきだと感じました。作業着の商品開発にも表れていると思いました。
- 大学の里山についての講義や県が主催する里山活用について考えるワークショップに参加した際に、課題の頭在化と解決策の立案を行ったことがありました。発表を聞き、解決方法を考えるだけの活動は机上の空論に終わってしまうのだと感じました。実際に手を動かし、生活を体験することで次世代に真の課題が見えるのだと感じました。
- 里山の多くの活用の仕方を見出し、それを広めたり実際に行動に移している姿を見て感心しました。私はあまり里山について深い知識はなかったのですが、わかりやすい発表で、里山の活用の可能性が感じられました。今後どのように活用されていくのか楽しみです。ありがとうございました。
- 発表ありがとうございました。木曾地域の農林業への解決策として青峰ガーデンの整備をしていく中で自然災害や害獣といった実際の農業の中でもみられる困難を受けつつも、自分たちにできることを考えて、実際に成し遂げていらっしゃるのを見て見習うべきところが多いなと感じました。木曾地域は自然豊かで自然と触れ合える里山などがあれば移住してきたいという人もいるのかなとも思いました。

- 里山の保全とそれを生かした子どもたちのための環境整備は私も重要だと感じていました。今の子ども達は外に出ることがなく、家の中で過ごすことが多いため子どもの運動能力が低下している現実があります。実際、転んだ時に両手が出ない子どももいるそうです。その結果大けがしてしまうこともあるそうです。その面から子どもたちに外での活動場所の提供は必要なことでありそれに伴って里山を整備することは町のためにもなるのでとても素晴らしい活動だと感じました。いまの日本では放置されている里山が多くあるのに対し高齢化が進むことでこのままだと生態系にも影響が出ることからもっと里山について考えるとともに活用していくことが多くの地域で求められると感じました。ほかにも農業も里山と関係あることから様々な面で問題をとらえる必要があると感じました。これから先、里山について考えなくてはならないときが来ると思うので是非皆さんの活動が全国に広まってほしいと感じました。これからも頑張ってください。
- 地域の環境、自然を守るためにさまざまな交流を通して、問題点を抱えながらも活動を行っているのがとてもいいと感じました。農業をする人の人工不足はとても大きな問題だなと感じました。これから今まで普通に食べれていたお米などが食べれなくなると思うとぞっとしました。
- 里山を活用し農林業活性化の活動を地域の子子どもたちとつなげていっているのがいいなと思いました。作業着の作成やベンチの作成、野菜の栽培など幅広い活動をし、さらに世代をこえ、地域を巻き込んでの活動が持続可能な社会に向けてとても有効的だなと思いました。発表ありがとうございました。
- 自然や整備されていない土地をそのままにせず、活用できるもの、人々が繋がれるものを目指していることが伝わってきました。コロナで活動が滞ってしまったことは残念ですが、これからもっと良いものになっていくと思います。
- 豊かな自然を次の世代へ引き継ぐ！というテーマにおいて、人間が自然とどう共存していくのかというところだけでなく、世代を超えたつながりを活かすという文言がとても素敵だなと思いました。また、地域の方々と協力しながら活動している点もすごく良いと感じました。
- 人口減少・高齢化の問題が特に深刻であるので、全国で起こりうる問題に対して、問題解決するモデルケースの先駆けになり、試行錯誤も難しい中すごいなと思いました。今後、似た境遇の地域が出てくると思うので、参考などにできたらいいなと思いました。イノシシなどの獣害の原因とそれに対する解決策は実現できない困難な問題だったのか気になりました。子ども達が楽しめる施設づくりにおいて、提供する側は安全を確保できるようにより多くの知識が必要だと思うので、この取り組みはすごいなと思いました。また、子どもに楽しんでもらえるような工夫も考えていて、すごいなと思いました。特産品開発において、地元の人にアドバイスをもらいながら、若い皆さんのアイデアを取り入れることができたな良いなと思いました。
- 過疎化や高齢化がとても重大な課題となっているとても感じました。コロナによってリモートワークが増え、郊外に移住する人も少なくないそうです。青峰高等学校さんの活動によってそのように木曾やいろいろな地域に人が戻ってくるといいなと感じました。またインスタグラムも早速フォローさせていただきました。プロフィール欄にどんな活動をしているのか、どのような団体のインスタなのか説明文があるととってもわかりやすくなり、フォローしてくれる人が増えるんじゃないかなと思いました。
- 発表お疲れさまでした。私自身、過疎化やそれに伴う獣害、森林害虫被害が深刻な問題となっている地域の出身です。高校、大学への進学と同時に地域から離れてしまったため、地域で直接活動できる機会がなかなか

か持てず、そのことを心苦しく思っていました。しかし、木曾青峰高等学校の活動を知ることにより、さらに下の年代へ引き継ぐ、伝えるということも重要なことであると学びました。私は現在教育に関わる仕事に就くことを目指していますが、このように下の年代に働きかけるという形で関わる事が出来るということで、今後への期待が高まりました。今後も頑張ってください。私自身に自分のできることを頑張りたいと思います。

- 里山を活性化させるためにベンチやスモールハウスを建て、子どもや地域の人たちと交流を図る点が最も印象に残りました。ベンチやスモールハウスを作るのにも木曾のヒノキを使うことで、森林を活用しているところが良いと思いました。また、作業着を作るという試みも新しく、興味深いアイデアだと思いました。いろいろな工夫を重ねながら、里山を守っていく様子がよく伝わってきました。
- 里山について先輩に教えてもらうだけでなく、「里山教室」で知識をさらに広げている姿に活動の広がりを感じました。特産品の生産や木材の活用に関する様々な活動も、さらに広がればと願っています。ヒノキで作ったベンチについて触れられていましたが、どんな場所に設置されたのかについて知りたいと感じました。
- 今日は発表していただき、ありがとうございました。自分たちの地域にはどんな問題があるのか、その問題に対してどのようにアプローチしていくのが良いかを考え、実践していく姿勢が良いと思いました。里山プロジェクトを始動させ、獣害対策、水田の再整備、ビオトープや山菜円、野草園の整備、農林業の活性化のために作業着を生徒自ら作ったり、世代間を超えた交流として地域の子もたちへの里山体験会を開いたり本当に様々な活動をしていて素晴らしいと思いました。他の里山を活性化させようとしている地域との交流会をするとまた新たなアイデアが増えて面白いのではないかと思います。これからも頑張ってください。
- 農林業の担い手不足を解決するために作業着を作成したり、伝統野菜・山菜の商品開発をしてもっと関心をもってもらうとする活動に魅力を感じました。また、子どもたちに里山教室を開くのは、子どもたちの興味関心を得るために効果的な活動だと思います。私自身、祖父母が農業を少しやっているのですが、小さいころから野菜や土に触れてきたので農業に対する関心はある方だと思っています。小さい頃に農林業に触れることで、年齢を重ねても関心は薄れにくいと思うので、子どもたちに里山教室をこれからも開いてほしいなと思いました。発表お疲れさまでした。
- 私も地元で里海プロジェクトに参加した経験があるので、里山づくりプロジェクトにとっても興味が湧きました。作業着を自分たちで染めて制作する活動も伝統芸術の分野に絡んでいて、広い分野で活動していると感じました。自然を楽しみながら挑戦している姿勢がとても魅力的でした。
- 里山が大事だということはよく聞きますが、それを行動に移して活動していることが素晴らしいと思います。地域の問題を自分たちのこととして考え、子どもたちに興味を持ってもらえるイベントにするのは良いと思いました。また、作業着を作ることで一体感も出るし、世代間の交流にも繋がると感じました。先輩を頼るというのも、後輩に頼られることは嬉しいと思うのでそういった縦の繋がりを大切にしていることがとても魅力的に感じました。これからも里山を守る活動を頑張ってください。
- 里山プロジェクトに際して、先輩から学んだり、子どもたちと遊びながらその学びを伝承したりする姿が印象的でした。学ぶ中で難しさを感じながらも、課題に向けて取り組み続けることが大切なのだと感じました。

SNSを通して活動を発信されているとのことで、拝見させていただきました。楽しそうな活動の様子が伝わってくる写真ばかりで、こうした投稿に興味を持ち、活動が広がることもあると思いました。ありがとうございました。

- お疲れ様でした。私は普通科高校の出身で当時の自分の学びを振り返ると、特色ある学びのある高校をうらやましく思います。とことんつきつめていきたいと思えるようなことが、高校時代に一つでもあったら、また私の高校時代ももっと面白かったらと振り返るからです。現在、小学校教諭として小学校で勤務しておりますが、地域とのつながりというと、多くは社会人や高齢者とのつながりが多く、高校生とのつながりはあまりありません。しかし、みなさんのように、地域のこどもたちと一緒に、地域のことを考えてみたり、これからを想像してみたりすることは、小学生の子供たちにとってエネルギーがわくものであると感じます。勤務校の近くの高校生と何かできないか、考えてみたいと思います。ありがとうございました。
- 地域の課題を根拠ある資料などを基にしながら、皆さんの周辺にある課題を解決する組織立てた活動は、頼もしく感じられます。また、それを後輩の諸君に伝えようとする姿に、もの作り（職人）としてのたくましさ、地域を存続させるために後輩諸君に課題を伝える教える者としての眼差しが感じられます。一層の発展を期待しています。
- 関心を持ってもらうため作業着を作成していて面白いと思いました。里山を最大限活用していて非常に感心しました。また野菜などの栽培や作業着の作成によって広い世代の人たちが里山に興味関心をもってもらえると思いました。
- なぜそういった活動をしようと思ったきっかけは何でしょうか。
- 地域の問題に根差した活動、関心いたしました。特に地域の保育園などとの交流は本当に素晴らしいなと思いました。本校も3年前から自然科学部という部活で飯山市の里山で地域の方の指導のもと、棚田での米作りや森林整備などの活動をしています。こちらはあくまで普通科ですので、まだまだ学んでいる段階ですが、またどこかで里山部との情報交換の機会が持てたら嬉しく思いました。本日はお疲れさまでした。
- 里山について先輩に教えてもらうだけでなく、「里山教室」で知識をさらに広げている姿に活動の広がりを感じました。特産品の生産や木材の活用に関する様々な活動も、さらに広がればと願っています。ヒノキで作ったベンチについて触れられていましたが、どんな場所に設置されたのかについて知りたいと感じました。